

文学部 外国語文化学科における教員養成像

【英語（中学校一種）】

外国語文化学科は、國學院大学の人材育成の目的、及び「日本文化の研究を深化させるとともに、異文化との比較・相対化を通して、日本文化を世界へ創造的に発信することのできる人材を育成する」という文学部の人材育成目的に基づき、海外の諸文化についての学修を通して日本文化を相対化し、異文化間コミュニケーションの主体となるべき人材の育成を目指しています。また、外国文化研究および異文化コミュニケーションに必須のスキルとして、高度な外国語運用能力が修得できるカリキュラムを運用しています。

中学校で行われるべきコミュニケーション型授業運営を可能にするためには、教員本人が英語の四技能（読む・聞く・話す・話す）を十全に身につけ、その上で、自らが修得した外国語能力を経験則に頼るだけでなく、分析の対象として見つめ直すことが必要です。さらに、生徒の興味関心を引き出し、能動的な学修へと導く指導力が求められます。

外国語文化学科で学び、中学校教員として巣立っていく学生は、高度な英語能力を修得していることに加え、日本人が英語を学ぶ際の難点や、異文化理解に際して陥りやすい誤解に対して自覚的であり、中学校教育の変化へ柔軟に対応できる力を身につけています。

【英語（高等学校一種）】

外国語文化学科は、國學院大学の人材育成の目的、及び「日本文化の研究を深化させるとともに、異文化との比較・相対化を通して、日本文化を世界へ創造的に発信することのできる人材を育成する」という文学部の人材育成目的に基づき、海外の諸文化についての学修を通して日本文化を相対化し、異文化間コミュニケーションの主体となるべき人材の育成を目指しています。また、外国文化研究および異文化コミュニケーションに必須のスキルとして、高度な外国語運用能力が修得できるカリキュラムを運用しています。

高等学校で行われるべきコミュニケーション型授業運営を可能にするためには、教員本人が英語の四技能（読む・聞く・話す・話す）を十全に身につけ、その上で、自らが修得した外国語能力を経験則に頼るだけでなく、分析の対象として見つめ直すことが必要です。さらに、主たる教授対象である日本人生徒の依拠する文化的背景を相対化した上で、英語圏の文化に対する十分な理解に基づいて、生徒の英語運用能力をより実践的で汎用的な方向へと導く必要があります。

外国語文化学科で学び、高等学校教員として巣立っていく学生は、高度な英語能力を修得していることに加え、日本人が英語を学ぶ際の難点や、異文化理解に際して陥りやすい誤解に対して自覚的であり、高等学校教育の変化へ柔軟に対応することができる力を身につけています。

【中国語（中学校一種）】

外国語文化学科は、國學院大学の人材育成の目的、及び「日本文化の研究を深化させるとともに、異文化との比較・相対化を通して、日本文化を世界へ創造的に発信することのできる人材を育成する」という文学部の人材育成目的に基づき、海外の諸文化についての学修を通して日本文化を相対化し、異文化間コミュニケーションの主体となるべき人材の育成を目指しています。また、外国文化研究および異文化コミュニケーションに必須のスキルとしての、高度な外国語運用能力を学生が修得できるカリキュラムを運用しています。

中学校における中国語教育では、初歩的な会話表現を身につけさせること以上に、生徒の興味関心を引き出す工夫が求められます。発音教育から始め、基礎的な文法事項・語彙を教授するに際しても、教員の側に十分な中国語運用能力が備わっていることが前提となります。

外国語文化学科では、大学入学後はじめて中国語を学び始める学生が大多数ですが、卒業までに実用に耐える中国語運用能力を身につけることができます。また、中国語圏の文化に関する専門的な学修を通して、学生は国際交流の礎となる複眼的な思考方法を獲得します。外国語文化学科の卒業生には、国際的・社会的環境の変化をふまえた教育実践が可能です。

【中国語（高等学校一種）】

外国語文化学科は、國學院大学の人材育成の目的、及び「日本文化の研究を深化させるとともに、異文化との比較・相対化を通して、日本文化を世界へ創造的に発信することのできる人材を育成する」という文学部の人材育成目的に基づき、海外の諸文化についての学修を通して日本文化を相対化し、異文化間コミュニケーションの主体となるべき人材の育成を目指しています。また、外国文化研究および異文化コミュニケーションに必須のスキルとしての、高度な外国語運用能力を学生が修得できるカリキュラムを運用しています。

高等学校における中国語教育には、日常の様々な場面における会話表現を身につけると同時に、中国語圏の社会と文化に関する基礎的な理解を促進することが求められます。発音教育から始め、基礎的な文法事項・語彙を教授するに際しても、教員の側に十分な中国語運用能力が備わっていることが前提となります。

外国語文化学科では、大学入学後はじめて中国語を学び始める学生が大多数ですが、卒業までに実用に耐える中国語運用能力を身につけることができます。また、中国語圏の文化に関する専門的な学修を通して、学生は国際交流の礎となる複眼的な思考方法を獲得します。外国語文化学科の卒業生には、国際的・社会的環境の変化をふまえた教育実践が可能です。